

# 【特集】編集部が現地取材！ 英語で読み解く ジャズとアメリカ

南部ルイジアナ州に位置する街、  
ニューオーリンズで誕生したとされるジャズは、  
100年近い歴史を有するアメリカを代表する音楽文化である。  
本特集では、ジャズの発展の背景を踏まえつつ、  
現地のインタビューで得られたさまざまな人の声から、  
アメリカを形成する一文化としての「ジャズ」をとらえ直していく。  
ジャズを通して見えてくる現代アメリカの姿とは……

英文執筆 (pp.36-39, p.43):  
ジェームス・M・バーダマン (James M. Vardaman)

アメリカ、テネシー州生まれ。プリンストン神学校教育専攻、修士。  
ハワイ大学院アジア研究専攻、修士。  
現在は早稲田大学名誉教授。専門はアメリカ文化史。  
著書に「アメリカ黒人の歴史」(NHK出版)、  
「はじめてのアメリカ音楽史」(筑摩書房)など。

取材・録音・執筆：EE 編集部  
現地写真：井田貴子

## Short Introduction to Jazz

# 今につながるジャズの歴史

アメリカ南部のニューオーリンズがジャズの発祥地とされていることは、知る人も多いだろう。ジャズの成り立ちには、かつて奴隷として連れてこられた南部の黒人たちの歴史が密接に関わっている。本項では、彼らにまつわる歴史を振り返りながら、ジャズ発展のおおまかな流れを見ていこう。

### 誕生の背景 (21)

Jazz is a synthesis of black music and white music that emerged in cities along the Mississippi River as well as in Kansas City, New York City and Washington, DC. The first jazz musicians wandered the Gulf of Mexico coast and traveled on steamboats along the Mississippi and by train to the big eastern cities plying their trade, picking up new ideas and developing new songs based on what they heard in other locations.

Jazz is especially associated with New Orleans, because in the second half of the 19th century, that city provided a hospitable environment for local and itinerant musicians. Music was part of myriad social settings there, whether high-society dances, houses of prostitution, social clubs or street corners. Even church music was adapted by jazz musicians to include such classic songs as “When the Saints Go Marching In” and “Down by the Riverside.” Pianists, marching bands and others drew from Caribbean dance music to develop a syncopated style known as “ragtime.”

ジャズはミシシッピ川沿いの諸都市や、カンザスシティ、ニューヨーク市とワシントンDCで発展した、黒人音楽と白人音楽が一体となったものです。当初のジャズ音楽家たちはメキシコ湾岸をさまよひ、ミシシッピ川沿いを蒸気船で巡り、鉄道で東部の大都市へ向かい、仕事に励みながら、新しい発想を吸収し、その道中に聞いた音楽を元に新しい曲を生み出していました。

ジャズは特にニューオーリンズと関わりがあります。この街は19世紀後半、地元や旅回りの音楽家たちに居心地のいい環境を提供していたからです。そこでは音楽は、上流階級の舞踏会、売春宿、社交クラブや街角など、人々が集まるさまざまな場所に欠かせないものでした。教会音楽までもがジャズ音楽家たちによって広げられ、そこには「聖者の行進」や「ダウン・バイ・ザ・リバーサイド」といった古典的な曲も含まれるようになりました。



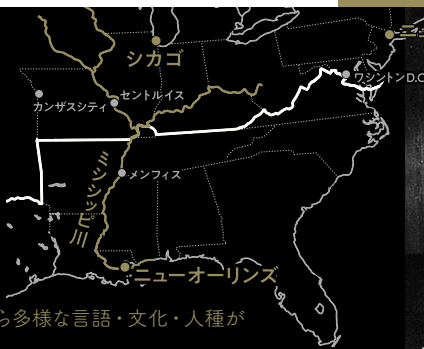
### ミシシッピ川と ニューオーリンズ

運河としてのミシシッピ川は、その広大な水域から北米大陸植民初期から輸送路として活用されてきた。

メキシコ湾へと注ぐ川の河口に、初めはフランス領植民地として築かれた

ニューオーリンズには、その地理的な要因から多様な言語・文化・人種が流れ込み、政府公認の売春街や街角を中心に、

ハイブリッドな音楽としてのジャズ誕生の土壌が形成された。



— = 南部連合境界線



初期のジャズの成立に大きく貢献したとされる米国政府公認の売春街、ストーリービルの娼婦。